

平成30年6月25日

川西市議会議長

西山博大様

建設公企常任委員長

秋田修一

委員会報告書

本委員会に付託の事件は、審査の結果、別紙のとおり決定したので、会議規則第101条の規定により報告します。

建設公企常任委員会における審査の経過と結果について（審査日：平成30年6月18日）

1. 議案第43号 平成30年度川西市一般会計補正予算（第1回）

<p>議案の概要</p> <p>第1表 歳出第8款土木費。</p> <p>第2表 債務負担行為補正</p>
<p>質疑の概要</p> <p>第1表 歳出</p> <p>第8款 土木費</p> <p>問 豊川橋山手線整備に伴う能勢電鉄絹延橋駅第1踏切拡幅等整備工事については、今年度の社会資本整備総合交付金内示額が要望額より少なかったため、本補正により予算額を7000万円減じようとしているが、32年度までの総事業費については、踏切拡幅で8億1000万円、構内踏切廃止・下り線改札口等設置で2億2000万円とのことである。これらの財源について伺いたい。</p> <p>答 踏切拡幅に要する費用の55%について社会資本整備総合交付金を充当し、構内踏切廃止・下り線改札口等設置にかかる費用を含めて、残額が市の負担となる。この市負担分については、90%相当額を市債発行で対応することとしている。</p> <p>問 構内踏切廃止・改札口設置という能勢電鉄の敷地内における工事について、市が全額負担する理由は何か。</p> <p>答 当初から国は踏切拡幅による平面交差には否定的だったが、立体交差で事業費を試算したところ約60億円に及んだため、さらに国と協議を進めた結果、駅構内の踏切道廃止を条件に事業推進が認められた経過がある。従って、この措置は、あくまで豊川橋山手線の拡幅に伴い必要となる工事であるため、費用は原因者である市が負担するものである。</p> <p>第2表 債務負担行為補正</p> <p>問 地権者がキセラ川西内に誘致している大型集客施設については来年の夏頃に開業予定と仄聞しているが、踏切拡幅工事はこれに間に合うということか。</p> <p>答 順調に工事が進捗すれば平成31年9月頃に踏切拡幅が完成予定であることから、結果的に同施設のオープン時期にほぼ整合するものと考えている。</p>
<p>特記事項 委員会配付資料あり(豊川橋山手線整備事業に伴う絹延橋第1踏切拡幅等の整備工事について)</p>
<p>審査結果 原案可決（全員賛成）</p>

2. 請願第8号 市は(仮称)川西市立総合医療センターの「基本構想」策定後、すみやかに市民説明会と意見を聞く場を設けることを求める請願

請願の趣旨

市は先ごろ市立川西病院の指定管理者を決定し、今後、総合医療センターに関する基本構想の策定に際してパブリックコメントを実施するとしている。市民の間には北部医療の今後や市の財政状況への影響など本件に対して心配事がたくさんあり、市民のいのちや健康、市の将来に関わる大きな問題であることから、市はこれらに対して丁寧に対応すべきである。よって、市は基本構想策定後、速やかに市民に情報提供するよう、また、できるだけ早期に市民に対する意見聴取の場をきめ細かく設けるよう求める。

特記事項 なし

審査結果 不採択(賛成少数)